

## 令和3年度 事業実施報告（令和元年度からの継続事業②）

WG名	空き家再生 WG
WG構成員	(有)伊藤製材所 専務 伊藤 晃章 他2名
モデル事業名	空き家利活用による移住・定住の促進とビジネスユースの拡大
事業概要	市民参加型のワークショップや居住及び商業利用の希望者を対象としたモニターツアーを実施し、空き家活用のニーズの掘り起こしを行う。また、空き家の効率的な利活用に向けた仕組みを構築し、新規創業や移住・定住の促進を図る。
令和3年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すずかけ荘」オープンスペースの利用促進を図るため、空き家相談会や島根県立大学の講師を招いた健康講座等を開催した。</li> <li>・「すずかけ荘」の管理・保全を行うワークショップを実施した。</li> <li>・空き家居住ニーズの掘り起こしのためのモニターツアーとして、県立大学生を対象とした「平田暮らし体験ツアー」を実施した。</li> <li>・「すずかけ荘」の入居者募集を積極的に行った。</li> </ul>
令和3年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康セミナーは各回5～10人程度の参加者があった。空き家相談会は各回3～5組程度の相談があった。</li> <li>・ワークショップにより、「すずかけ荘」の管理経費の負担軽減につながることができた。平田高校生と共同で実施したことにより、「すずかけ荘」オープンスペースの利用促進の手法を共に考える機会となった。</li> <li>・モニターツアーにより「すずかけ荘」や平田の魅力を学生に伝えることができ、結果として、5部屋の個室のうち、島根県立大学生2名と一般の方1名が入居することになった。</li> </ul>
3年間の事業総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修した空き家4軒は全て利活用が決まった。地域住民と共同で改修することで、地域との連帯感が生まれた。</li> <li>・「すずかけ荘」の整備にかかるクラウドファンディングは、58人から597,500円の支援があった。Instagram「すずかけ荘」アカウントのフォロワーも増加しており、認知度が上昇傾向にある。</li> <li>・平田商工会議所主導により、ひらた空き家再生舎、平田高校、一畑電車、地元町内会等が参画する「平田駅前旧角好古堂改修施設支援連絡協議会」が設立され、「すずかけ荘」のオープンスペース活用、シェアハウス運営、地元調整等の支援体制が整ってきている。</li> <li>・本事業ではボランティアにより空き家改修をしたが、今後は地元工務店や職人の受注につながるスキームを検討する。</li> </ul>



「平田暮らし体験ツアー」の様子



入居募集チラシ



募金箱（ワークショップ作成）